

## ベストポスター賞の受賞の言葉

神奈川大学工学部経営工学科 村田 智哉

この度は栄誉あるベストポスター賞を頂き、大変光栄に存じます。発表準備に際し研究室の皆様から数多くのアドバイスを頂き、皆親身になって良い発表ができるよう協力して頂きました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

本研究を進めてまだ1年も経っていませんが、研究そのものがはじめてということもあり、なかなか思うような結果が得られず挫折することも多々ありました。ただ、研究を重ねるごとに情報技術が人間にとり身近になっていくことを感じています。また、人間が作り上げた情報技術が発展していくとともに日常生活をより豊かにできると考えるようになりました。

本研究は時間の有効活用だけではなく、個人の歩行特性データが健康管理の補助的役割を果たすこともできます。自動車のナビゲーションシステムへの応用として、運転手の歩行特性データを抽出できると考えています。また、スマートフォンのアプリケーションとして実現すれば、観光スポットまでのナビゲーションをすると同時に、道のりにある商店街の割引クーポンや地域企業の広告を画面内に表示することで、観光客を対象としたビジネスや地域活性化の貢献としても発展する可能性があると言えます。このように本研究が実用的に活用されれば、情報の分野のみならず様々な分野に影響を与えることができます。

発表では、数多くの方々にご清聴いただくとともに、本研究に対しての賛同のお言葉や進展に向けたご意見をいただき、改めて本研究が人間と情報システムを密接に繋げる利便性を高いものであると実感し、自ら考えた研究としての自信を付けられた良い経験となりました。また、更に有意な研究結果にするには、歩行実験の回数の増加と、性別・年齢・服装・路面状況・天候といった様々なシチュエーションの追加が必要だと認識し、1年間だけでは成し遂げることはできない研究であると実感しました。今後、様々な分野の方々が携わることで、より興味深い研究になると考えております。

人間と情報がより密接に関わることで実現する豊かな日常生活を想像すると、とても楽しみです。そんな将来に一歩でも前進できるように、今後も本研究に携わるようにしていきます。本研究の完成形にはまだまだ程遠いものではありますが、できる限り近づけるように日々の研究を楽しみながら、今後も情報システムの発展に寄与できますよう研究に専念いたします。